

平成18年度保健所長研修(東日本ブロック)

～医療制度改革がもたらす地域保健への影響と保健所の対応～

目的： 地域の特性や住民ニーズなどEBMに基づいて方法論を現場で考え、生み出す「考えるすべ」を身につけ、日常活動において職員はもとより地域の関係機関や住民と共に目的を見据え、地域資源や各事業等を手段として活用できるようになる。さらに、各所属自治体で伝達研修を行うことができる。

対象： 各保健所長(所長候補者) ※原則として医師・歯科医師を優先する

日時： 平成18年11月16日(木)～17日(金)

場所： ヘルスプラザ仙台 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉3-2-7 TEL022-711-7211

	9:00	10:30	11:30	12:00		13:00	17:00	18:00	20:00
1 日 目		9:30 受付 10:00 開講式 オリエンテーシ ョン 趣旨・説明	講義「最近の地域保健の動向 ～医療制度改革～」 (講師：厚生労働省担当官)	ディスカッショ ン (コーディネーター：石 川県石川中央保 健所長 川島ひ ろ子)	昼 食	講義・グループワーク・ケースメソッド的ディスカッション(1) 「地域保健上の課題抽出 ～医療制度改革の潮流の中で～」 (コーディネーター：石川県石川中央保健所長 川島ひろ子、 沖縄県立看護大学・大学院助教授 金城芳秀) ◆ケースメソッド的ディスカッションを行うにあたって ◆ケースライティングに関する説明 ◆ファシリテーター・ファシリテーションとは ◆ケースメソッド教材(平成17年度岸本班CD)の活用方法 ◆事前レポートに基づいたグループ・ディスカッション ◆ディスカッションの内容に関するグループ発表 ◆2日目に向けて、地域保健上の課題抽出 ◆1日目を振り返っての全体討論		ナイトセッション 「情報収集と発信」 (話題提供：厚生労働 省担当官) (アドバイザー：株式 会社医療産業研究所長 梅本 哲) ※パソコンを使用し、 インターネットを活用 したディスカッショ ン。厚生省等のホーム ページにアクセスし情 報の入手・活用方法に ついて検討。	
2 日 目	グループワーク・ケースメソッド的ディスカッション(2) 「医療制度改革の潮流の中での公衆衛生活動～より具 体的な課題検討～」 (コーディネーター：滋賀県東近江保健所長 角野文彦、 愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター長 櫃本真幸) ※事前レポートの中から研修検討委員が予め作成したモデル 事例、および前日のグループ討議で抽出された具体の事例につ いて、徹底したディスカッションを行います。(課題例) ◆これからの医療安全対策のあり方 ◆地域連携クリティカルパスへの保健所の関わり ◆保健医療計画/健康危機管理計画/医療費適正化計画 ◆地域保健分野の基盤整備・人材育成 ◆地域における健康課題への資源配分の方針		講義「アスベス ト対策につい て」 (講師：環境省 担当官)	昼 食	全体討論・総評 「保健所は何かできて、何をすべきか」 (コーディネーター：滋賀県東近江保健所長 角野文彦、愛媛大学医学部附 属病院医療福祉支援センター長 櫃本真幸) ※医療制度改革を素材として2日間にわたって行ったケースメソッド的検討手法を 地域に持ち帰っていかに関実践していくか、そのために必要なことは。今なすべきこ とは何か。全体討論で総括を行います。 ◆2日間を振り返っての意見交換・全体討論 ◆アンケート記入・決意表明 ◆講師からの総評 ◆ITを活用した研修受講者フォローアップに関する説明		15:00 閉 講 式		

* 当研修は平成18年度地域保健総合推進事業「ケースメソッドを活用した実践的研修とインターネット技術を駆使したフォローアップによる地域保健分野の人材育成事業」と連携して開催されます。

平成18年度保健所長研修(西日本ブロック)

～医療制度改革がもたらす地域保健への影響と保健所の対応～

目的： 地域の特性や住民ニーズなどEBMに基づいて方法論を現場で考え、生み出す「考えるすべ」を身につけ、日常活動において職員はもとより地域の関係機関や住民と共に目的を見据え、地域資源や各事業等を手段として活用できるようになる。さらに、各所属自治体で伝達研修を行うことができる。

対象： 各保健所長(所長候補者) ※原則として医師・歯科医師を優先する

日時： 平成18年12月7日(木)～8日(金)

場所： 福岡ガーデンパレス 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-8-15 TEL 092-713-1112

	9:00	10:30	11:30	12:00		13:00	17:00	18:00	20:00
1 日 目		9:30 受付 10:00 開講式 オリエンテーション 趣旨・説明	講義「最近の地域保健の動向 ～医療制度改革～」 (講師：厚生労働省担当官)	ディスカッション (コディネーター：広島県福山地域保健所長 岸本益実)	昼 食	講義・グループワーク・ケースメソッド的ディスカッション(1) 「地域保健上の課題抽出 ～医療制度改革の潮流の中で～」 (コディネーター：広島県福山地域保健所長 岸本益実、愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター長 榎本真幸) ◆ケースメソッド的ディスカッションを行うにあたって ◆ケースライティングに関する説明 ◆ファシリテーター・ファシリテーションとは ◆ケースメソッド教材(平成17年度岸本班CD)の活用方法 ◆事前レポートに基づいたグループ・ディスカッション ◆ディスカッションの内容に関するグループ発表 ◆2日目に向けて、地域保健上の課題抽出 ◆1日目を振り返っての全体討論		ナイトセッション 「情報収集と発信」 (話題提供：厚生労働省担当官) (アドバイザー：株式会社医療産業研究所長 梅本 哲) ※パソコンを使用し、インターネットを活用したディスカッション。厚労省等のホームページにアクセスし情報の入手・活用方法について検討。	
2 日 目	グループワーク・ケースメソッド的ディスカッション(2) 「医療制度改革の潮流の中での公衆衛生活動～より具体的な課題検討～」 (コディネーター：滋賀県甲賀保健所長 嶋村清志、東北福祉大学健康科学部教授 佐藤牧人) ※事前レポートの中から研修検討委員が予め作成したモデル事例、および前日のグループ討議で抽出された具体の事例について、徹底したディスカッションを行います。(課題例) ◆これからの医療安全対策のあり方 ◆地域連携クリティカルパスへの保健所の関わり ◆保健医療計画/健康危機管理計画/医療費適正化計画 ◆地域保健分野の基盤整備・人材育成 ◆地域における健康課題への資源配分の方針		講義「アスベスト対策について」 (講師：環境省担当官)	昼 食	全体討論・総評 「保健所は何かできて、何をすべきか」 (コディネーター：滋賀県甲賀保健所長 嶋村清志、東北福祉大学健康科学部教授 佐藤牧人) ※医療制度改革を素材として2日間にわたって行ったケースメソッドの検討手法を地域に持ち帰っていか実践していくか、そのために必要なことは、今なすべきことは何か。全体討論で総括を行います。 ◆2日目を振り返っての意見交換・全体討論 ◆アンケート記入・決意表明 ◆講師からの総評 ◆ITを活用した研修受講者フォローアップに関する説明		15:00 閉 講 式		

* 当研修は平成18年度地域保健総合推進事業「ケースメソッドを活用した実践的研修とインターネット技術を駆使したフォローアップによる地域保健分野の人材育成事業」と連携して開催されます。